

エコアクション21

《ea21 in いわた》

環境活動レポート

令和3年度版

(令和3年4月～令和4年3月)



ベッコウトンボ [桶ヶ谷沼](令和4年4月)

令和4年8月1日発行
静岡県磐田市



目 次

環境方針	2
1 組織の概要	3
2 実施体制	
(1) エコアクション21の推進体制	4
(2) エコアクション21の対象部署	5
3 エコアクション21環境目標	8
4 環境目標の取組状況と評価	9
5 環境活動計画書	12
6 環境活動取組目標の状況と評価(令和3年4月～令和4年3月)	14
7 教育・訓練の実施	28
8 環境関連法規への違反・訴訟等の有無	30
9 環境に関する苦情の受付状況	33
10 環境上の緊急事態への準備と対応	33
11 代表者による全体評価	34

磐田市環境方針

【基本理念】

磐田市は、環境基本条例及び第2次磐田市環境基本計画に基づき、全職員が一丸となって、地球的視野に立った環境の保全と創造を推進するため、率先して取り組んでいきます。

私たちのまち磐田市は、斜面林に囲まれる磐田原台地を中心に、北に森林地帯、西に天竜川、東に太田川を配し、南の遠州灘に臨む、豊かで多様な自然に恵まれ、日本一のトンボの宝庫である桶ヶ谷沼に象徴されるような身近に自然とふれあえる優れた環境を有しています。

健全で恵み豊かな環境を保全することは、私たちが健康で文化的な生活を営む上での最重要課題であり、また、その環境を将来の世代に引き継いでいくことは、私たちの責務です。

私たちは、自然の恵みなしに生存できないことを認識するとともに、自らの生活様式や社会経済活動のあり方を見つめ直し、環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会を構築していかなければなりません。

～「磐田市環境基本条例 前文」より～

【基本方針】

- 1 第2次磐田市環境基本計画の6つの基本方針「1.暮らしやすさが実感できる環境をつくり、2.豊かな自然環境を守り、3.自然・歴史文化とふれあう機会をつくり、4.3Rの取組みや環境にやさしい消費行動を推進し、5.地球温暖化対策に取り組む、6.環境教育を推進する」に基づき、「市の取組み」を推進します。
- 2 第2次磐田市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）に基づき、省資源・省エネルギー、廃棄物の減量化及びリサイクルの推進、環境に配慮した物品の購入等について、目標と計画の達成期間を定めるとともに、定期的に見直し、継続的な改善活動を行います。
- 3 職員を対象とした研修会等を実施し、環境意識の向上に努めます。
- 4 環境関連法令を遵守し、継続的な環境の保全に努めます。
- 5 環境方針及び環境改善活動の結果については、全職員に周知するとともに、広く市民に公開します。

磐田市長 草地 博昭

1 組織の概要

(1) 自治体名及び代表者名

磐田市

代表者 市長 草地 博昭

(2) 所在地

静岡県磐田市国府台3番地1

(3) 環境管理責任者氏名

磐田市環境水道部長 匂坂 正勝

(4) 担当課

磐田市環境水道部環境課

Tel 0538-37-4874

Fax 0538-37-5565

E-mail : kankyo@city.iwata.lg.jp

(5) 事業活動の内容

地方行政事務

(6) 事業の規模

予算額 67,180百万円（令和3年度一般会計当初予算）

職員数（正規、嘱託、臨時） 3,439人（令和3年4月1日時点）※

※磐田市全組織の人数

延べ床面積 510,040.61㎡（令和3年3月末時点）

(7) 認証・登録の範囲

認証・登録状況

認証登録年月	施設名
平成23年10月	市役所本庁舎、西庁舎、iプラザ
平成25年10月	各支所及び市長部局の出先機関（保育園・幼稚園等を除く）、消防及び教育委員会の関連施設（小中学校を除く）
平成27年10月	小中学校、幼稚園、保育園、こども園
平成29年10月	磐南浄化センター
令和3年10月	22交流センター（福田中央交流センターは登録済）

2 実施体制

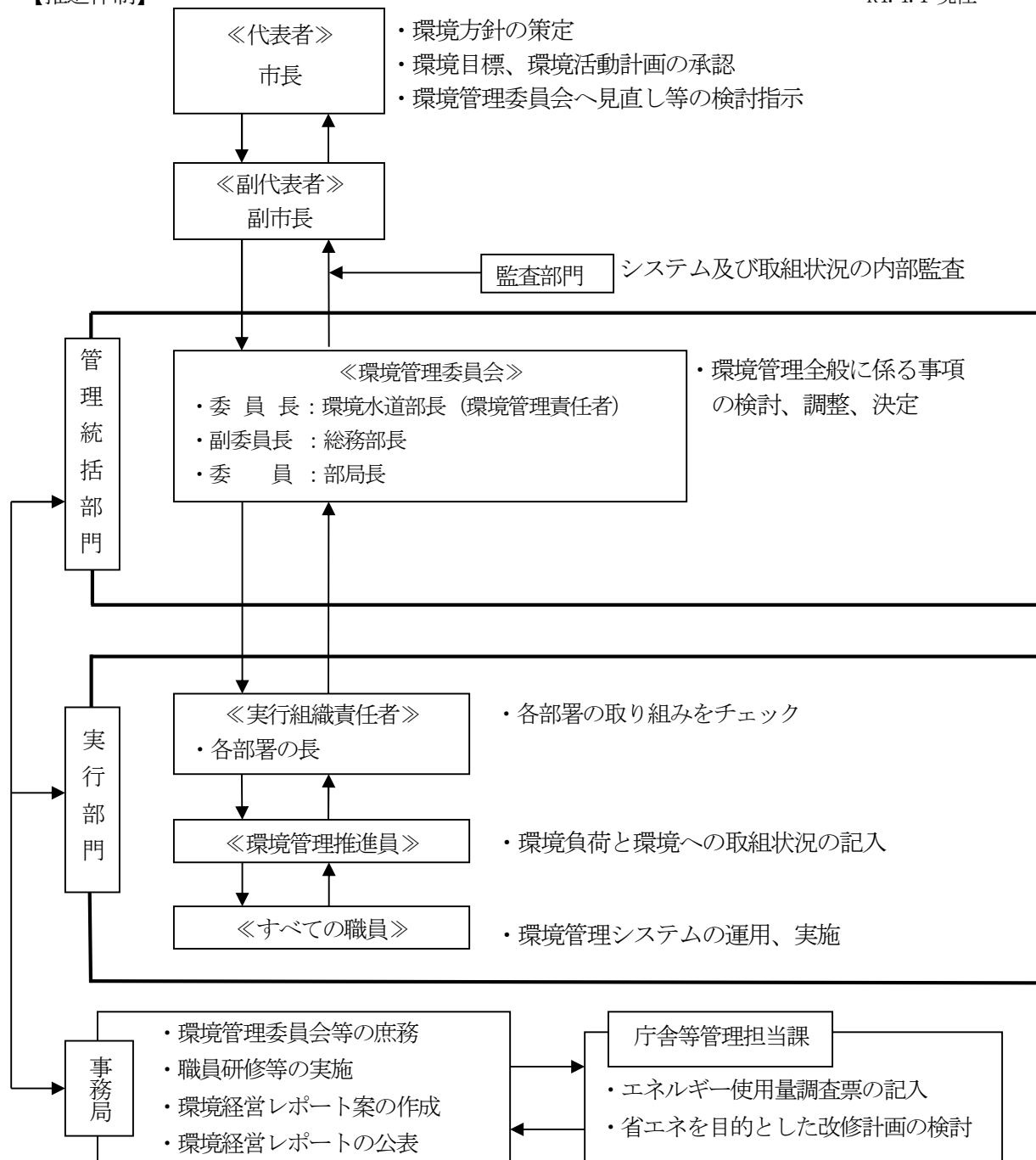
(1) エコアクション21の推進体制

管理統括部門に、環境管理委員会を設置します。また、各課・施設における環境への取組の推進と環境負荷と環境への取組状況の報告のため、実行部門の全部署に環境管理推進員を設置します。

なお、磐田市役所におけるエコアクション21環境経営システムを“**ea21 in いわた**”と称することとします。

【推進体制】

R4.4.1 現在



(2) エコアクション21の対象部署(網掛けの範囲はすべて取組対象)

(令和3年度組織図)

建物	所属	直営・委託		
本庁舎	総務部	総務課	防災センター	
		職員課		
		危機管理課		
		契約検査課		
		市民課		
	企画部	秘書政策課	磐田市情報館	
		市長公室		
		資産経営課		
		広報広聴CP課		
		市民相談センター		
		財政課		
		市税課		
		収納課		
	自治市民部	地域づくり応援課 地域デザイン推進室	岩田交流センター	栄町自転車等駐車場
			大藤交流センター	
向笠交流センター				
田原交流センター				
御厨交流センター				
南御厨交流センター				
西貝交流センター				
南交流センター				
長野交流センター				
見付交流センター				
中泉交流センター				
ふれあい交流センター				
福田南交流センター				
竜洋交流センター				
池田交流センター				
富岡交流センター				
青城交流センター				
井通交流センター				
豊田東交流センター				
豊岡東交流センター				
豊岡中央交流センター				
豊浜交流センター				
男女共同参画センター				
市民活動センター				
磐田国際交流協会				
多文化交流センター				
学習交流センター				
本庁舎	スポーツ振興課	竜洋体育センター	【総合体育館外20施設】 【磐田スポーツ交流の里 ゆめりあ球技場外5施設】 【福田屋内スポーツセンター 外8施設】 【竜洋海洋センター体育館 外5施設】 【アミューズ 豊田外5施設】	
		豊田野球場		
		磐田卓球場		
		磐田アーチェリー場		
		豊田加茂テニスコート		
		豊田加茂グラウンド		
		健康福祉部		国保年金課
		会計課		会計課
		議会事務局		議会事務局
		西庁舎		総務部
産業部	産業政策課			
	経済観光課			
	農林水産課			
西庁舎	農林水産課		観光案内所	
		リサイクルバンク・マガモ		
		職業訓練校		
西庁舎	農林水産課	於保農村婦人の家		
		福田農村環境改善センター		

建物	所属	直営・委託	
	建設部 <ul style="list-style-type: none"> 道路河川課 <ul style="list-style-type: none"> 道路河川課分室 ポンプ場(11箇所) 都市計画課 建築住宅課 <ul style="list-style-type: none"> 市営住宅(13団地) 都市整備課 <ul style="list-style-type: none"> 風竜(風力発電) 		竜洋昆虫自然観察公園 竜洋海洋公園オートキャンプ場 竜洋海洋公園レストハウス
	環境水道部 <ul style="list-style-type: none"> 環境課 <ul style="list-style-type: none"> 聖苑 		
	監査委員 <ul style="list-style-type: none"> 監査委員事務局 		
	教育部 <ul style="list-style-type: none"> 教育総務課 学府一体校推進室 放課後児童支援室 学校教育課 学校給食課 		
総合健康福祉会館(プラザ)	健康福祉部 <ul style="list-style-type: none"> 福祉課 <ul style="list-style-type: none"> 福田健康福祉会館(リフレシ) 老人ホーム楽寿荘 高齢者支援課 健康増進課 <ul style="list-style-type: none"> 急患センター 		
	こども部 <ul style="list-style-type: none"> こども未来課 <ul style="list-style-type: none"> 子育て支援センター こども・若者相談センター 幼稚園保育園課 		
旧豊田北部小学校	健康福祉部 <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス スワクチン対応室 		
福田支所	総務部 <ul style="list-style-type: none"> 市民生活課 		
	環境水道部 <ul style="list-style-type: none"> 上下水道総務課 上下水道工事課 	水源管理センター 上下水道料金センター 豊岡クリーンセンター 農業集落排水処理施設(2箇所)	
	消防本部 <ul style="list-style-type: none"> 消防総務課 警防課 救急企画室 予防課 		
竜洋支所	総務部 <ul style="list-style-type: none"> 市民生活課 		
豊田支所	総務部 <ul style="list-style-type: none"> 市民生活課 		
豊岡支所	総務部 <ul style="list-style-type: none"> 市民生活課 		
	教育部 <ul style="list-style-type: none"> 豊岡図書館 		
福田中央交流センター	自治市民部 <ul style="list-style-type: none"> 地域づくり応援課 		
埋蔵文化センター 歴史文書館	教育部 <ul style="list-style-type: none"> 文化財課 		
中央図書館	教育部		
福田図書館	教育部		
にこっと(豊田図書館)	こども部		
市民文化会館 文化振興センター	自治市民部 <ul style="list-style-type: none"> 文化振興課 	熊野伝統芸能館 池田の渡し歴史風景館	新造形創造館 香りの博物館
竜洋なぎの木会館	自治市民部 <ul style="list-style-type: none"> 文化振興課 		
	教育部 <ul style="list-style-type: none"> 竜洋図書館 		

建物	所属	直営・委託
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">クリーンセンター</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">桶ヶ谷沼ビジターセンター</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">磐南浄化センター</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">環境水道部</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ごみ対策課</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">環境課</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">上下水道工事課</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">厚生会館</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竜洋最終処分場</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">衛生プラント</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一般廃棄物最終処分場</div>		
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">磐田北小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">磐田中部小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">磐田西小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">磐田南小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">東部小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大藤小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">向笠小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">長野小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">岩田小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">田原小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">富士見小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">福田小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊浜小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竜洋東小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竜洋西小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竜洋北小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊田南小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">旧豊田北部小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">青城小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊田東小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊岡南小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊岡北小学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">磐田第一中学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">城山中学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">向陽中学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">神明中学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">南部中学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">福田中学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竜洋中学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">ながふじ学府一体校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊田南中学校</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊岡中学校</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教育部</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教育総務課</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大原学校給食センター</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊田学校給食センター</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊岡学校給食センター</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">教育部</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学校給食課</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">磐田北保育園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">二之宮保育園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竜洋西保育園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竜洋北保育園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊田西保育園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊田北保育園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">磐田北幼稚園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">磐田南幼稚園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">向笠幼稚園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">長野幼稚園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">田原幼稚園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">東部幼稚園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竜洋幼稚園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊田北部幼稚園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊田東幼稚園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊岡南幼稚園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">福田こども園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">大藤こども園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊岡こども園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">磐田なかよしこども園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竜洋東こども園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊田南こども園</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">青城こども園</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">こども部</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">幼稚園保育園課</div>
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">消防署</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">東部分遣所</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">福田分遣所</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">竜洋分遣所</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊田分遣所</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">豊岡分遣所</div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">消防本部</div>	

3 エコアクション21環境目標

(1) 二酸化炭素排出量削減目標

目標年度		H25年度 (基準年度)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
二酸化炭素排出量 (t-CO ₂)	① 電気	22,140.5	目標 14%削減 結果 28.3%削減	目標 14%削減 結果 35.2%削減	目標 20%削減 結果 31.9%削減	目標 20%削減	目標 20%削減
	② ガソリン	376.0					
	③ 混合油	2.1					
	④ 灯油	1,517.7					
	⑤ 軽油	248.5					
	⑥ A重油	2,962.9					
	⑦ プロパンガス	723.8					
	⑧ 都市ガス	864.8					
	小計	28,836.3					

※目標は基準年度（平成25年度）比の数値です。

(2) 廃棄物・水・コピー用紙・グリーン購入の目標

目標年度	H29年度 (基準年度)	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
廃棄物排出量 (kg)	261,206	基準年度を下回る	R1年度を下回る	R2年度を下回る	R3年度を下回る	R4年度を下回る
水使用量 (m ³)	999,781	1.8%削減	3.6%削減	5.4%削減	7.2%削減	9%削減
コピー用紙使用量 (枚/A4換算)	34,852,125	1.2%削減	2.4%削減	3.6%削減	4.8%削減	6%削減
グリーン購入率 (%)	95.3%	100%				

※水、コピー用紙の目標は基準年度（平成29年度）比の数値です。

(3) その他の目標

化学物質の適正管理	化学物質や薬品を適正に管理します。
各課の独自の取組み	各部署本来の業務で効率化や地域環境の負荷低減、保全等に努めます。

4 環境目標の取組状況と評価

(1-1) 二酸化炭素排出量

(単位：t-CO₂)

項目	H25年度(基準)	R2年度	R3年度	H25年度比	対H25増減
電気使用量	22,140.5	12,983.3	13,805.7	-37.6%	-8,334.8
ガソリン	376.0	277.1	274.8	-26.9%	-101.2
混合油	2.1	1.1	0.3	-85.7%	-1.8
灯油	1,517.7	1,299.2	1,510.6	-0.5%	-7.1
軽油	248.5	151.8	150.8	-39.3%	-97.7
A重油	2,962.9	2,429.0	2,329.6	-21.4%	-633.3
プロパンガス	723.8	671.6	681.4	-5.9%	-42.4
都市ガス	864.8	880.5	890.7	3.0%	25.9
全体排出量	28,836.3	18,693.7	19,643.9	-31.9%	-9,192.4
目標	—	14%削減	20%削減		
結果	—	35.2%削減	31.9%削減	・・・OK	

*端数処理の関係で総数と内訳の計が一致しない場合があります

※購入電力の二酸化炭素排出係数は、各電力会社の電気事業者別排出係数を用いました。(環境省・経済産業省 参考)

項目	H25年度	R2年度	R3年度
中部電力ミライズ(株)	0.000513	0.000431	0.000406
スマートエナジー磐田(株)	-	0.000198	0.000230
丸紅新電力(株)	-	0.000308	0.000362
関西電力(株)	-	0.000340	0.000379

(1-2) 各項目における使用量

項目	H25年度(基準)	R2年度	R3年度	H25年度比	対H25増減
電気使用量(kwh)	43,158,873.0	42,230,728.0	42,726,549.3	-1.0%	-432,323.7
ガソリン(公用車)(ℓ)	157,458.3	114,925.2	114,097.0	-27.5%	-43,361.3
ガソリン(その他)(ℓ)	4,464.8	4,450.0	4,384.9	-1.8%	-79.9
混合油(ℓ)	926.0	472.0	111.0	-88.0%	-815.0
灯油(ℓ)	609,652.0	521,875.0	606,811.0	-0.5%	-2,841.0
軽油(公用車)(ℓ)	66,706.7	57,345.6	57,106.0	-14.4%	-9,600.7
軽油(その他)(ℓ)	29,456.0	1,394.0	1,230.0	-95.8%	-28,226.0
A重油(ℓ)	1,093,452.0	896,427.9	859,733.1	-21.4%	-233,718.9
プロパンガス(m ³)	110,543.6	102,574.9	104,067.0	-5.9%	-6,476.6
都市ガス(m ³)	390,507.8	397,607.0	402,229.0	3.0%	11,721.2

〈考察〉

二酸化炭素排出量は、目標の20.0%削減に対し、平成25年度比31.9%削減できました。各項目使用量のうち、電気使用量、灯油、プロパンガス、都市ガスは前年度より増加となりました。

増加した電気使用量については、一部の施設で二酸化炭素排出係数が低い事業者から高い事業者へ変更したことや、再生可能エネルギー施設の廃止等が原因と考えられます。一方、照明をLED化し、電気量の削減に努めた施設もありました。引き続き職員の意識啓発に努め、各施設の状況に応じた省エネルギー対策を推進していきます。

(2-1) 廃棄物排出量

(単位：kg)

廃棄物排出量

項目	H29年度(基準)	R2年度	R3年度	H29年度比	対H29増減	R2年度比	対R2増減
可燃ごみ	114,489.3	96,075.4	108,034.9	-5.6%	-6,454.4	12.4%	11,959.5
給食残飯	56,976.3	49,363.9	57,280.9	0.5%	304.6	16.0%	7,917.0
古紙	33,100.5	32,231.6	29,935.9	-9.6%	-3,164.6	-7.1%	-2,295.8
シュレッダー屑	4,675.9	3,645.8	3,891.5	-16.8%	-784.4	6.7%	245.7
機密文書	34,041.4	25,929.6	18,837.6	-44.7%	-15,203.9	-27.4%	-7,092.1
容器包装プラ	5,865.8	7,512.0	7,231.2	23.3%	1,365.3	-3.7%	-280.8
空き缶	1,079.0	1,088.3	890.8	-17.4%	-188.2	-18.1%	-197.5
ペットボトル	826.8	659.0	660.9	-20.1%	-165.8	0.3%	1.9
金物・小型電化製品	5,492.2	6,594.2	4,267.8	-22.3%	-1,224.4	-35.3%	-2,326.5
電池・蛍光灯	716.4	768.8	747.4	4.3%	30.9	-2.8%	-21.4
プラスチックごみ ガラス・ビン・陶器類	3,942.2	6,687.2	6,420.5	62.9%	2,478.3	-4.0%	-266.8
合計	261,205.6	230,555.7	238,199.1	-8.8%	-23,006.5	3.3%	7,643.4
目標(前年を下回る)	-	221,632.8	230,555.7				
結果	-	8,922.9	7,643.4		・・・NO		

*端数処理の関係で総数と内訳の計が一致しない場合があります

〈考察〉

廃棄物排出量は、前年度を下回るという目標に対して令和2年度比3.3%増加となりました。新たに可燃ごみの排出量を取り入れた施設があったことや、新型コロナウイルスワクチン接種に伴い、児童生徒が学校を欠席したことによる給食残飯が増加したためと考えられます。

(2-2) 水使用量

(単位：m³)

項目	H29年度(基準)	R2年度	R3年度	H29年度比	対H29増減
上水道	540,795	484,949	476,121	-12.0%	-64,674
地下水	458,986	404,964	371,817	-19.0%	-87,169
合計	999,781	889,913	847,938	-15.2%	-151,843
目標	-	3.6%削減	5.4%削減		
結果	-	11.0%削減	15.2%削減		・・・OK

〈考察〉

水使用量は目標の5.4%削減に対し、平成29年度比15.2%削減できました。一部の小中学校で水泳の授業を2学期に実施しなくなったこと等が影響していると考えられます。今後も節水や使用量の削減の呼びかけを継続していきます。

(2-3) コピー用紙の購入量

(単位:枚)

項目	H29年度(基準)	R2年度	R3年度	H29年度比	対H29増減
A4	27,522,500	26,320,000	26,477,500	-3.8%	-1,045,000
A3	1,644,500	1,449,000	1,356,000	-17.5%	-288,500
B5	1,337,500	1,207,500	980,000	-26.7%	-357,500
B4	2,025,000	1,677,500	1,207,500	-40.4%	-817,500
合計(A4換算)	34,852,125	32,639,875	31,735,750	-8.9%	-3,116,375
目標	—	2.4%削減	3.6%削減		
結果	—	6.3%削減	8.9%削減	・・・OK	

〈考察〉

コピー用紙の購入量は目標の3.6%削減に対し、平成29年度比8.9%削減できました。GIGAスクール構想による1人1台タブレット端末を配付したことにより、ペーパーレス化が影響したと考えられます。今後もタブレット端末の積極的な活用などに努めます。

(2-4) グリーン購入率

(%)

項目	H29年度(基準)	R2年度	R3年度
グリーン購入率	95.3%	81.6%	94.8%
目標	100%		

・・・NO

〈考察〉

グリーン購入率は目標の100%に対し、94.8%となりました。全国的な古紙の不足により、再生紙の入手が困難な状況が続いていましたが、古紙の供給が回復しつつあることに加え、印刷業者の努力もあり、令和2年度に比べ改善がみられました。引き続き、環境管理推進員を対象とした説明会を通じて職員の意識向上に努めます。

(3-1) 化学物質の適正管理

薬品やその他化学物質については、外部への漏洩が無いように適切に管理しています。(薬品等の管理簿作成、施錠管理など)

(3-2) 各課の取組

平成30年3月に第2次磐田市環境基本計画を策定し、豊かな自然環境を将来の世代まで継承するとともに、環境への負荷の少ない持続可能な社会の構築や暮らしやすさが実感できるまちづくりを推進しています。

なお、エコアクション21における各課の取組は、「6. 環境活動取組目標の状況と評価」の一部に記載しており、本来業務の中で環境負荷の低減を目指しています。

5 環境活動計画書

1. 日常の業務に関する取り組み

温室効果ガス排出量の削減目標達成に向けて、本市が取り組むべき事項を以下に示します。

(1) エネルギー使用量の削減

- ◇ 始業前、昼休み、終業後の時間は窓口に支障のない範囲で消灯します。
- ◇ 部分的に消灯できる部屋については極力消灯し、業務に支障のない範囲で照明を間引きします。
- ◇ 夏季は軽装、冬は重ね着をするなど服装を工夫して冷暖房の使用を控えます。
- ◇ パソコン、コピー機などのOA機器は、省電力設定にします。
- ◇ エレベーターを極力利用しないようにします。
- ◇ 空調は適切な温度に設定します。(室温の目安：夏 28℃、冬 20℃)
- ◇ 空調機器のフィルターは定期的に清掃するなど、設備・機器の保守管理を徹底します。
- ◇ 緑のカーテンの設置により、空調機器の効率を高めます。

(2) 自動車燃料使用量の削減

① 公用車の適正な運行

- ◇ 近距離の用務には徒歩を優先します。
- ◇ 出張の際は極力公共交通機関の利用に努めます。
- ◇ 「エコドライブ 10 のすすめ」を順守します。

② マイカーの適正な利用

- ◇ 通勤には、できる限り公共交通機関を利用します。
- ◇ ノーカーデーの実施率を向上させます。

～エコドライブ 10 のすすめ～

- 1 ふんわりアクセル「eスタート」
- 2 時間に余裕のある出発
- 3 加速・減速の少ない運転
- 4 タイヤの空気圧チェック
- 5 早めのアクセルオフ
- 6 不要な荷物の積載禁止
- 7 カーエアコンの使用は適切に
- 8 迷惑駐車禁止
- 9 無駄なアイドリングのストップ
- 10 燃費の把握

(3) 省資源・リサイクルの推進

① 紙の節約

- ◇ 総合内部事務システム等の活用により、会議資料や事務書類を簡素化しペーパーレス化を図ります。
- ◇ 印刷物の発行部数は、必要最小限の量とします。
- ◇ 両面・集約などの機能を活用した印刷及びコピーを徹底します。
- ◇ ミスコピーを防ぐため、コピー機等は使用前に設定を確認するとともに、使用後は設定をリセットします。
- ◇ 支障のない範囲で使用済み用紙の裏面を利用します。

② ごみ排出量の抑制

- ◇ 事務用品などは大切に使い、長期使用に努めます。
- ◇ 不要になった備品等は、グループウェアの掲示板等を活用し積極的に再利用します。
- ◇ 使用済み封筒、ファイル類を再利用します。

- ◇ ごみの分別（紙類の分別など）を徹底します。

③水使用量の削減

- ◇ 常に節水を心掛けます。
- ◇ 公用車の洗車時には、バケツなどを利用して節水に努めます。
- ◇ 水道配管からの漏水を定期的に点検します。

(4)グリーン購入の推進

- ◇ 購入前に必要性を検討し、購入する量を最小限にします。
- ◇ 磐田市環境物品等の調達に関する基本方針に基づいて購入します。

2. 施設整備に関する取り組み

(1)施設の新設・改修、設備更新

- ◇ 省エネルギー設備を導入します。
(例) 照明のLED化、高効率空調機器の導入、建物の高断熱化
- ◇ 太陽光発電など再生可能エネルギーの導入に努めます。

(2)施設・設備の運用改善

- ◇ 施設の省エネルギー診断を実施し、運用改善を行います。
- ◇ エネルギー使用状況を把握し、分析、改善します。
- ◇ 空調・ボイラー等の運転管理手順を見直し、省エネルギー化に向けた改善を行います。

(3)温室効果ガスの吸収源の保全

- ◇ 市内にある樹林地などの管理・保全に努めるとともに、緑化を積極的に進めていきます。
- ◇ 公共施設では草花や樹木を植栽し、緑化に努めます。

(4)低公害車への更新

- ◇ 公用車を新規導入または代替導入する場合は、低公害車の導入に努めます。

3. 所属ごとの取り組み

- ◇ 各所属は、環境経営システム「エコアクション21」の目標を一グループ改善制度と併せて設定し、実施するすべての事務業務に環境配慮の視点を持ち、常に業務改善及び省エネ、省資源化に取り組めます。

4. 「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取り組み（令和3年度～）

- ◇ 2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指します。
- ◇ 市長による「ゼロカーボンシティ」表明（令和3年6月14日）
まずは、この表明により、「ゼロカーボンシティ」を目指す旨を市職員はもとより市民や事業者に対し、広く周知しました。
次に、令和3年度は、磐田市総合計画の後期基本計画を策定する中で、カーボンニュートラルの実現を掲げました。令和4年度は、磐田市環境基本計画の後期計画を策定する中で、その実現に向けた具体的な取り組みを示します。

6 環境活動の取組目標の状況と評価（令和3年4月～令和4年3月）

No.1	総務部	情報政策課	デジタル政策推進グループ
タイトル	情報機器貸出し方法の見直し		
現状	<p>各課へのタブレット端末等、Web会議機器の貸出しに際し、貸出簿を記入することで、利用状況や返却状況を管理している。</p> <p>紙で管理しているため、貸出状況がすぐに確認できず、また、利用者も貸出簿の記入に時間がかかっている。</p>		
対応	<p>バーコードなどを使用して、簡単に機器を特定し、エクセルなどを使用して、貸出状況を管理することで、管理の簡略化を図る。</p>		
目指す効果	<p>貸出し作業時間の削減 1件あたり5分（取り組み前）→3分（取り組み後）</p>		
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減		
効果の内容	現状、毎月100枚程度の貸出簿が記入されているが、電子化することで、紙の消費を抑えることができる。		
効果の結果	<p>月1回実施しているアクセス研修の中で、機器の貸出しの仕組みの検討やサンプルプログラムを作成した。運用が可能となるアクセスプログラムの作成には至らなかったが、課題解決の必要性はあるので、引き続き研修を続けるなかで、運用が可能となるようなものを作成していきたい。</p>		

No.2	企画部	財政課	財政グループ
タイトル	財政制度に関するFAQの作成		
現状	財政制度や予算執行などについての課題に関し、多種対応な問い合わせが毎日のようにあり、基本的には部局担当が各自回答しているが、それぞれ記録には残しているものの、その内容が課内で共有されているとは言い難い。		
対応	部局に関係なく共通する課題も多いことから、質問とそれに対する回答、またその根拠などをまとめ、種類別に整理しリスト化し、対応している案件の共有化と更新できる仕組みを構築する。		
目指す効果	相談対応に係る時間の1割縮減を目指す。 また、人事異動があっても円滑な引継ぎと負担軽減が図れるようにする。		
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減		
効果の内容	相談対応時間の削減による業務効率化		
効果の結果	ドキュワークスの機能を活用して、財政制度FAQ（財政課に対する質問とその回答一覧）の更新体制を構築し、個々に受付している財政課への質問の共有化とデータベース化を図ることで事務の効率化、円滑な引継ぎと負担軽減につなげることができた。 11月末時点で22件の回答が蓄積されている。		

No.3	自治市民部	スポーツ振興課	施設グループ
タイトル	体育施設の竣工図面等、関係図書類の集約化		
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・社会体育施設の図面類は、それぞれの施設に保管中 ・建物等の修繕時には、都度施設へ出向き書類を検索 ・施設まで移動（往復）する時間が「もったいない」 ・保管状況もバラバラで、探すのに30分以上かかることもある。 		
対応	バラバラに保管されている各施設の書類を一箇所にまとめ、移動時間の短縮を図り作業（業務）の効率化を目指す。		
目指す効果	<p>【移動時間】10日／年の往復の移動時間を削減する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1.0時間×10日×2箇所＝20時間（豊岡・竜洋） ・0.5時間×10日×3箇所＝15時間（ゆめりあ・福田・豊田） <p style="text-align: right;">計 35 時間</p> <p>【検索時間】平均20分かかる検索時間を15分短縮し5分とする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15分×10日×5箇所＝約17時間 <p>合計 52 時間の削減</p>		
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減		
効果の内容	移動に伴う自動車燃料費と車両から排出されるCO2の削減		
効果の結果	<p>各施設で保管していた図面類を、自課において一括管理としたことで、移動時間は35時間削減の目標に対し、31.5時間の削減と目標を下回ったが、これは書類等の移動に各施設1日を要したことによるもので、実質、目標達成と考える。</p> <p>検索時間については、目標に掲げた17時間削減を達成できたため、合計では48.5時間の削減となった。</p> <p>これ以外にも、数値は把握できていないが、移動に係る職員の負担軽減や、自動車燃料費及び車両から排出されるCO2削減にもつながった。</p>		

No.4	健康福祉部	健康増進課	地域保健グループ
タイトル	チームでの業務推進体制の構築		
現状	保健事業の経験年数が3年未満の職員が4人在籍。 コロナ対策により、業務量は増加する中、グループ員の数は減っており、業務が煩雑になりやすいリスクがある。		
対応	グループの中を3チーム体制にし、チームごとの情報共有や進捗管理で可視化しサポートしやすい体制を構築する。		
目指す効果	人材育成と労働の生産性の向上		
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減		
効果の内容	チーム体制による業務の効率化		
効果の結果	チーム体制で、赤ちゃん訪問など期限がある業務をサポートする体制をとった。コロナ対応により、業務量は増加しグループの人員は減ったが、対応の遅れを出すことなくこなすことができた。		

No.5	こども部	ひと・ほんの庭 にこっと
タイトル	貸館マニュアル(機器操作・貸出備品・申請チェックリスト等)の作成	
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚室の機器類の操作が難しく、説明できる者が限られている。 ・貸出備品の一覧がないため、受けた職員によって対応が違うことがある。 ・使用申請時に営利目的や入場料徴収等があるか否やを確認し忘れ、後で使用料金の修正を連絡することが発生している。 	
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・機器類操作の古い説明書をわかりやすく説明書に変更する。 ・貸出備品の一覧を作成する。 ・申請時にチェックリストを作成し、確認忘れをなくす。 	
目指す効果	<p>操作説明及び貸出備品の説明時間短縮</p> <p>操作説明 (10M×28件(R2から推計))、 貸出備品 (5M×60件(R2から推計)) 計 280分+300分=580分</p> <p>改善後</p> <p>操作説明 (5M×28件(R2から推計))、 貸出備品 (2M×60件(R2から推計)) 計 140分+120分=260分</p>	
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減	
効果の内容	マニュアル等の作成により、説明時間の削減による業務効率化	
効果の結果	<p>感染症拡大による貸館停止と申請者からのキャンセルにより、新規団体への貸館件数は少なかったものの、説明必要時間は45分((10M-5M)×9件)ほど短縮できた。</p> <p>また、マニュアルの作成により正規職員だけでなく、会計年度任用職員でも対応することができ、正規職員の負担が減少した。</p>	

No.6	こども部	豊岡南幼稚園
タイトル	感染予防の徹底	
現状	<p>(バス)・バス通園児がバスに乗車の際、職員が園児の手に消毒液をかけていると子どもの安全配慮にかけることがある。(特に雨天時)</p> <p>(給食時)・給食時の指導の際、職員が多数の園児の皿や箸に触れることで、衛生面の配慮が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食時、園児同士の飛沫感染の恐れがある。 	
対応	<p>(バス内)・子どもの動線に合わせた場所、また、バス乗車時に自分で消毒ができるようにステップ途中に消毒を設置する。</p> <p>(保育室)・クラス内の数箇所に消毒液を設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食時、机にパーテーションを設置する。 ・消毒器を置けるよう、家具を設置する。液が出るところには、手が触れないように具体的に指導する。 	
目指す効果	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が効率的、かつ確実に手指の消毒を行う。 ・職員がこまめに手指の消毒を行い、給食時の指導を行い、衛生面に配慮できるようにする。 ・給食時の感染予防を行う。 	
期待される環境への効果	環境に関する啓発	
効果の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・手指の消毒徹底。 ・給食時の感染予防。 	
効果の結果	<p>(バス・保育室)・消毒の設置場所を確保することで、園児が自分で確実に手指の消毒を行うことができた。また、職員が消毒だけに関わることなく全体に目を配ることができ、安全面にも配慮ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園内に消毒器を置く家具を複数設置することで、園児がこまめに消毒を行うことができた。そのことによりどの園児も元気に過ごすことができた。 <p>(給食)・職員がこまめに手指消毒を行い給食時の指導を行う、また机上へパーテーションを設置することにより衛生面に配慮することができ、食事の際の感染を防ぐことができた。</p>	

No.7	産業部	農林水産課	農林水産振興グループ
タイトル	補助金、支援制度の説明資料の集約		
現状	補助金、支援制度について、窓口等で問い合わせがあったとき、担当が不在の場合は後ほど連絡で対応している。		
対応	補助金等の制度の情報(チラシ等)を集約しマニュアルとして使用できるようにする。		
目指す効果	<p>申請希望者、職員の負担緩和(業務の効率化)</p> <p>申請者希望者の問い合わせ回数・来庁回数および担当者の電話対応件数減(1件につき△1)</p> <p>⇒1件につき対応時間10分 月平均6件 月60分の削減</p>		
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減		
効果の内容	マニュアル化することによる業務の効率化		
効果の結果	補助金や支援制度の情報(チラシ等)を集約化し、マニュアルとして使用できるようにした結果、担当者が不在でも簡単に説明できるようになった。また、これにより、対応時間も1件につき10分程度削減できるようになり業務の効率化に繋がった。		

No.8	建設部	建築住宅課	住宅管理グループ
タイトル	ホームページへの市営住宅(募集団地)の動画掲載		
現状	現在の市営住宅入居の流れは、申し込み⇒抽選(応募多数の場合)⇒仮決定⇒部屋の見学⇒入居決定となっているが、部屋の見学をしてイメージと異なるため、入居を辞退するケースがある。		
対応	申し込み前に、動画で部屋の様子を見ることで、イメージとの差異をできるだけ軽減する。		
目指す効果	<ul style="list-style-type: none"> ・入居辞退や再募集に係る対応時間が軽減される。 対応時間の短縮 (辞退に係る書類の作成、次点者へ意向確認) (辞退件数 5 件) × 2 時間 = 10 時間 ・動画に簡単な入居条件等を挿入することで、窓口での対応時間が削減される。 対応時間の短縮 (入居に関する説明時間) (説明件数 30 件) × 10 分 (削減時間) = 5 時間 		
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減		
効果の内容	対応時間の削減		
効果の結果	動画を作成し、市営住宅の情報をわかりやすく発信したことにより、市窓口に来なくても市営住宅の様子を確認することが可能となった。動画をホームページの入居募集ページに掲載したことにより、入居辞退や再募集に係る対応時間・窓口での対応時間を、概ね目標どおり(15時間)削減できると考えている。		

No.9	環境水道部	ごみ対策課	施設管理グループ
タイトル	パパッと探して負担&ストレス軽減！！		
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・両グループともごみ処理に関する有益な情報をデータ管理しているが、データ量が膨大なため把握がしにくく、有効活用できていない。 ・半世紀前から現在に至るまでの膨大な資料が書庫に収納されているが、過去の経緯を調べる際など、目的の資料を探し出すのにかなりの時間を要する。 		
対応	<ul style="list-style-type: none"> ・データ管理目録を作成することで、課内の誰もが容易に検索ができ、かつ有効な活用につながるよう適正管理する。 ・書庫の文書は施設ごとの括りで整理し、配置レイアウト及びデータベースを作成するとともに書庫内に一目瞭然でわかる表示を施すことで迷うことなく探しだせるものとする。 		
目指す効果	<p>検索すれば誰でもすぐに的確な保管場所が示されるため、職員の作業負担の軽減につながる。</p> <p>10分/回 × 2回/週 × 52週 = 1,040分（17時間）の業務負担減</p>		
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減		
効果の内容	書類およびデータ管理方法の改善による業務効率化		
効果の結果	<p>どの棚に「いつの」「どのような資料」が保管されているか作成した目録により一目瞭然となったため、検索に費やす労力が大幅に軽減した。また、課内データについて、「施設名」「予算科目」「年度」の順に階層設定することをルールとして統一したことで、必要なデータを容易に探し出すことができるようになり、大幅な検索時間の縮減となった。</p> <p>効果：約 20 時間の業務負担減</p> <p>【書庫目録】 5分/回 × 2回/週 × 52週 = 520分（8時間）</p> <p>【データ整理】 7分/回 × 2回/週 × 52週 = 728分（12時間）</p>		

No.10	環境水道部	上下水道工事課	施設グループ
タイトル	下水道施設（マンホールポンプ）の災害時対応の強化		
現状	<p>当市の下水道管渠は、マンホールポンプが、166 基設置されている。そのマンホールポンプの機能は、災害時（停電等）や故障時においても継続して保たなければならない。なお、その災害対応は被災状況の規模により、当グループの職員だけでなく他課の応援が必要になってくる。そのような体制において、現在のマンホールポンプ台帳やマニュアルでは、経験の無い職員が迅速に行動できない恐れがある。</p>		
対応	マンホールポンプ台帳やマニュアル内容を更新する。		
目指す効果	<p>危機管理の向上による時間外労働の削減</p> <p>1 災害 災害初動時間削減 $0.5H \times 21 \text{ 人} = 10.5H$</p> <p>住民対応時間削減 $1.0H \times 21 \text{ 人} = 21.0H$</p> <p>合計 31.5H の時間外勤務削減</p>		
期待される環境への効果	環境保全		
効果の内容	<p>①長期停電等の弊害による、排水基準を超える水質を河川等に排出させない。</p> <p>②仮設トイレ使用による不衛生化の回避。</p>		
効果の結果	<p>住民対応時間削減 $8 \text{ 件} \times 1H \times 2 \text{ 人} = 16H$ の時間外勤務削減</p> <p>※本年度の災害によるマンホールポンプ異常出動は、現在までに発生していない。</p>		

No.11	教育部	学校教育課	教育支援グループ
タイトル	困ったとき、大変なときには声を出そう。仲間との「つながり・かわり」の中で、心も体も元気。仕事も効率アップ		
現状	責任ある業務をそれぞれが抱え、そのプレッシャーや仕事量により、気持ちが重くなることや、思うように年休や振替がとれないときがある。生徒指導対応や保護者からの相談などが勤務時間外に入ることもある。また、業務内容によっては、互いの業務に対する理解度が十分ではないものもある。		
対応	担当する業務は違っても、研修、契約、任用、問題行動と発達障害・就学支援、学校安全と学校保健等、互いの業務が関連する部分で助け合う場面は現状でも見られる。さらに効率的に業務を進めていくため、些細なことでも声を掛け合い、互いの業務を理解し、業務的にも精神的にもサポートし合える関係をつくっていききたい。		
目指す効果	協働による仕事の効率化を図り、勤務において時間的・精神的な余裕を生み出すことで、月に4時間以上の年休の取得を目指す。		
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減		
効果の内容	グループ全体で、年休の総取得時間数を昨年度より増やすことで、少しでも消費エネルギーの削減につなげたい。		
効果の結果	月に4時間以上の年休取得率は、目標を設定してから意識が高まり、達成率が上がった。特に新しいメンバーのつぶやきや様子に対して「どうした？」と声を掛け合い、業務だけでなく気持ちの面もグループ内で共有しようという雰囲気がある。		

No.12	教育部	学校給食課	大原学校給食センター
タイトル	施設・機器の簡易な修繕を自前で実施		
現状	開設から 12 年が経過し、老朽化による施設や機器の故障・不具合が多発している。予算も限られており、優先順位をつけた対応をせざるをえない状況であり、安心して安全な給食の実施に支障が出る恐れがある。		
対応	台車等のキャスター(車輪)の交換など、業者に依頼しなくても修繕できそうなものは調理委託業者等の協力も得て自前で実施することで、予算の節減に努めることとする。		
目指す効果	昨年度実績で 32 台分のキャスターを交換した。今年度も同規模の修繕が発生するものと思われ、部品を購入し、自前で修繕することで修繕を発注した場合の 1 台当たりの人件費約 2.5 万円の節減を図る。(昨年度同規模とすると 2.5 万円×32 台=80 万円)		
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減		
効果の内容	業者が作業に赴くことがなくなることで、CO2 排出量を抑えることができる。		
効果の結果	11 月末の時点で 10 台分のキャスターを調理委託業者の従業員と協力して自前で交換し、修繕を発注した場合の人件費の節減を図ることができた(1 台当たりの人件費約 2.5 万円×10 台=25 万円)。また、業者が作業に出向くことがなくなり、移動に伴い発生する CO2 排出量を抑制することができた。		

No.13		会計課	審査グループ
タイトル	効率的な伝票起票の提案		
現状	部署によって伝票枚数が多く、決裁者のチェック機能が働きにくい。伝票起票に多くの手間を費やしている職員がいる。		
対応	<p>①改善が見込まれる部署に対し、個別の事例に沿って、効率的な伝票起票方法を具体的に提案する。</p> <p>②主に納付書払である、「電気、電話、水道」の起票数、件数や支出科目を調査し、伝票枚数の削減のための改善に役立てる。</p>		
目指す効果	<p>提案 5件/月（7月～11月） 25件</p> <p>起票課の事務効率化 満足度 60%以上</p>		
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減		
効果の内容	納付書回送時の紙伝票の出力を減らし、ペーパーレスに寄与する。（電気、電話、水道など）		
効果の結果	<p>①提案件数 28件（月平均 5.6件）中、「効果的である」という回答 21件（満足度 75%）</p> <p>②来年度システム導入予定のため、予算計上済</p>		

No.14	消防本部	消防総務課	総務企画グループ
タイトル	被服等中古貸与品のリユース		
現状	被服等貸与品については、退職者から返却されたものを倉庫にて一括管理し、破損等の交換用として活用しているが、品目によっては在庫数が年々増加し、保管場所の確保が問題となっている。職員の被服等は要綱に基づき貸与しているが、在職年数等により個人の貸与品保有数や損耗の程度が異なるなどの問題が生じている。		
対応	<ul style="list-style-type: none"> ①貸与品目別在庫数の確認 ②必要とする職員へ貸与 ③在庫余剰分をリサイクルとして業者へ委託 ④貸与品在庫管理品目及び管理表の見直し 		
目指す効果	<ul style="list-style-type: none"> ①リユースによる在庫数節減効果（5割減） 使用頻度の高い被服（活動服等）10着分の交換を想定し、うち5着を在庫品により対応。 ②リサイクルによる環境への配慮 ③在庫管理の見直しによる保管場所の確保 		
期待される環境への効果	消費エネルギー等の削減		
効果の内容	リユースによる経費節減効果 在庫被服等のリサイクルによる省資源化		
効果の結果	使用頻度の高い活動服については、4件の破損届があり、うち3着分をリユースによる対応としたこと、また63点の在庫品を必要とする職員へ貸与したことで、16%の在庫数削減につながった。このほか、余剰分のうち162点をリサイクルとして業者へ委託したことで、職員への貸与と合わせ全体で57%の在庫数削減効果があり、在庫品目また保管方法についても見直しを図った。		

7 教育・訓練の実施

開催日	項目等	内容	対象等
毎日	庁内放送の実施	昼休みと終業時にエコアクション 21 取組に関する 庁内放送を実施	全職員
毎月第3 金曜日	庁内放送の実施 庁内掲示板掲載	毎月第3金曜日を「ノーカーデー」とし、前 日に庁内放送及び掲示板掲載により啓発を 実施、8月より「いわた COOL CHOICE DAY」 として内容を充実	全職員
R3. 5. 17	庁内メール	一グループ一改善制度の目標設定を依頼	全職員
R3. 5. 1 ～10. 31	庁内メール 庁舎内へ掲示	冷房による電力消費を抑え、省エネルギーを進 めるため全庁でクールビズを実施	全職員
R3. 5. 11	環境管理推進員 資料配布	エコアクション 21 及びグリーン購入についての資料配 布	環境管理 推進員
R3. 5. 10	庁内メール	環境活動取組目標の設定を依頼	小中学校 指定管理施設
R3. 6. 16	庁内メール	事故及び緊急事態対応手順について	該当施設
R3. 7. 7	第1回環境管理委 員会	・令和2年度エコアクション 21 取組結果について ・令和3年度エコアクション 21 更新審査について	環境管理 委員
R3. 7. 28	庁内メール	環境法令等の順守確認の実施について	該当施設
R3. 7. 29	庁内メール 庁内掲示板掲載	エコアクション 21 基本方針・環境目標についてパン コン用壁紙を作成・周知の実施	全職員
R3. 8. 16	庁内掲示板掲載 HP 掲載	環境活動レポートを市 HP に掲載	市民

開催日	項目等	内容	対象等
R4.2.9	第2回環境管理委員会	エコアクション 21 の令和3年上半期取組状況等について	環境管理委員

8 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

令和3年4月～令和4年3月の法令違反や事故、異常事態の発生や関係機関からの指摘事項などは報告されていません。

また、外部からの訴訟も受けていません。

環境関連法規等一覧

種別	法令等名称	規制又は取組内容	主に関係する課
環境保全・創造基本法令	環境基本法	環境施策全般の実施	環境課
	静岡県環境基本条例		
	磐田市環境基本条例		
	地球温暖化対策の推進に関する法律(地球温暖化対策法)	市役所における地球温暖化対策の策定・実施及び市民、事業者への働きかけ	環境課
	静岡県地球温暖化防止条例		
	循環型社会形成推進基本法(循環型社会基本法)	循環資源の適正な措置、循環資源に関わる施策の策定及び実施	環境課
	環境情報の提供等の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律(環境配慮促進法)	環境配慮の状況の公表、環境に配慮した事業活動の促進のための施策の推進	環境課
	国等における温室効果ガス等の排出削減に配慮した契約の推進に関する法律(環境配慮契約法)	電力、自動車等の購入契約における温室効果ガス排出削減に配慮した契約の推進	契約検査課
	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律(環境教育法)	環境保全の意欲推進と環境教育の推進に関する施策の策定及び実施	環境課 ごみ対策課 学校教育課 幼稚園保育園課
資源循環関係	廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃掃法)	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物関連施策の実施 ・市の事業から排出される一般廃棄物の適正処理 ・市の事業から排出される産業廃棄物の適正処理 	環境課 資産経営課 ごみ対策課 廃棄物排出所管課
	静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例	<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の適正な処理 ・産業廃棄物管理責任者の配置 ・産業廃棄物の実地確認 	廃棄物排出所管課
	磐田市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	廃棄物の発生抑制及び再利用	ごみ対策課
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	分別解体等により現場で分別する義務及び建設資材等の再資源化の促進	建築住宅課 工事担当課

種別	法令等名称	規制又は取組内容	特に関係する課
資源循環関係	特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	庁舎等から廃棄される特定家電の適正処分	廃棄物排出所管課
	使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	・ 公用車のリサイクル・適正処理 ・ 購入・車検時のリサイクル料支払い	資産経営課 公用車所管課
	容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器包装リサイクル法)	・ 廃棄物関連施策の実施 ・ 容器包装廃棄物の分別収集 ・ 容器包装廃棄物の適正処理	ごみ対策課 廃棄物排出所管課
	資源の有効な利用の促進に関する法律(資源有効利用促進法)	・ 廃棄物の発生抑制、資源の有効な利用の促進 ・ パソコン類の適正処理	廃棄物排出所管課 情報政策課
	食品循環資源の再利用等の促進に関する法律(食品リサイクル法)	食品循環資源を再生利用した製品の利用	ごみ対策課
	国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	環境の負荷の低減に資する物品、役務の調達推進及び情報提供	環境課
公害対策関係	大気汚染防止法(大防法)	ボイラー等ばい煙等発生施設等及び冷温水発生設備の使用・適正管理	特定施設所管課 環境課
	騒音規制法	・ 騒音、振動を発生する特定施設及び特定作業の届出 ・ 規制基準の遵守義務	建設工事担当課 特定施設所管課 環境課
	振動規制法		
	水質汚濁防止法(水濁法)	・ 特定施設からの排水の適正管理 ・ 届出義務、排出基準の遵守	特定施設所管課 環境課
	悪臭防止法	・ 悪臭を発生する特定施設の規制 ・ 地域における悪臭の防止	特定施設所管課 環境課
	静岡県生活環境の保全等に関する条例	大気、水質、騒音、振動、悪臭等に関する公害防止のための規制	特定施設所管課 環境課
	静岡県地下水の採取に関する条例	塩水化など地下水障害を防止するための規制	地下水施設所管課 環境課

種別	法令等名称	規制又は取組内容	関係課
化学物質・ 危険物関係	特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律 (PRTR 法)	特定化学物質の排出管理	特定施設所管課 環境課
	ダイオキシン類対策特別措置法 (ダイオキシン特措法)	・ダイオキシン類の排出抑制・管理、届出 ・規制基準の遵守	特定施設所管課 環境課
	毒物及び劇物取締法 (毒劇法)	毒物及び劇物の指定、製造、販売、取扱等の規制	総合病院 小中学校
	ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法 (PCB 特別措置法)	PCB の適切な管理及び処理	PCB 使用、保管管理課 ごみ対策課
	消防法	・危険物の貯蔵 ・取扱制限、貯蔵所の設置等の許可、設備等の基準維持 ・危険物取扱者、防火管理者の選任	該当施設所管課 危険物使用、管理課・各施設
	危険物の規制に関する政令		
	高圧ガス保安法 高圧ガス保安法施行令 冷凍保安規則	冷暖房装置 (第一種、第二種高圧ガス製造施設) の管理	総合病院
その他	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)	・機器の設置に関する義務 ・機器の使用に関する義務 ・機器の廃棄等に関する義務	業務用冷凍空調機器管理所管課
	エネルギーの使用の合理化に関する法律 (省エネ法)	エネルギー使用量を中長期的に見て、年平均 1% 以上の削減、エネルギー使用状況の届出、管理員の選任 (特定事業者：年間エネルギー使用量が原油換算値で 1,500k1 以上)	資産経営課 教育委員会
	下水道法	・雨水排水事業の運営 ・公共下水道事業の運営 ・下水道への排水基準の遵守	道路河川課 上下水道総務課 上下水道工事課
	浄化槽法	・設置等の届出 ・浄化槽の適正管理 ・法定検査の実施	浄化槽施設所管課 上下水道総務課 上下水道工事課
	水道法	上水道事業の運営	上下水道総務課 上下水道工事課
	磐田市環境美化条例	環境美化施策の推進	環境課
	磐田市迷惑防止条例	快適で良好な生活環境の実現を図るため迷惑行為の防止	環境課

9 環境に関する苦情等の受付状況

(1) 市の事務事業が起因となる環境に関する苦情

令和3年度において、環境に関する苦情はありませんでした。

(2) 市域における公害発生源と相談件数（令和3年度）

業種等	大気	水質	騒音	振動	悪臭	その他	合計
農業・畜産	17	0	0	0	3	0	20
鉱業・砂利採取業	1	0	0	0	0	0	1
建設業	0	0	2	0	0	0	2
製造業	4	0	3	0	2	0	9
運輸業	1	0	1	0	0	0	2
卸売業・小売業	0	0	0	0	0	0	0
飲食店・宿泊業	0	0	2	0	0	0	2
サービス業	0	1	6	0	0	0	7
家庭生活	21	0	1	0	7	0	29
公務	0	0	0	0	0	0	0
不明・その他	7	2	2	1	0	3	15
合計	51	3	17	1	12	3	87

10 環境上の緊急事態への準備と対応

冷暖房用設備及び非常用発電設備に付随する燃料タンクが設置されている施設では、防火管理者や設備管理担当者のもと油流出防止対策手順書により適切な対応をします。

11 代表者による全体評価

磐田市は、環境負荷の少ない持続可能な社会の構築を目指し、平成 22 年 9 月からエコアクション 21 に取り組んでいます。

また、令和 3 年 6 月には、2050 年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明しました。この表明以降、これまで毎月職員が実施してきた「ノーカーデー」を「いわた COOL CHOICE DAY」に改め、市内で創られた再生可能エネルギーの利用やマイボトルの持参など、地道な環境配慮行動に努めています。

令和 3 年度のエコアクション 21 取組結果は、削減目標における基準年度の平成 25 年度と比較して、二酸化炭素排出量が 31.9%削減、平成 29 年度と比較して、水使用量が 15.2%削減、コピー用紙購入量は 8.9%減となり、それぞれ目標を達成しました。

一方、廃棄物の排出量は 8.8%削減、グリーン購入の達成率は 93.3%に留まったことから今一度それぞれの取組を検証し、職員一人ひとりが環境に配慮した業務改善により一層邁進していきます。

今後も全庁をあげてゼロカーボンシティを目指し、事業の見直しを進める中で、活気あふれる社会環境を守り育てるとともに、恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐための取組を推進していきます。

令和 4 年 8 月 1 日

磐田市長 草地博昭